

平成 22 年 12 月 15 日

関係者各位

大和インベスター・リレーションズ株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-2-1

大和八重洲ビル

Tel 03-5555-4111(代表) Fax 03-5202-2020

## 「2010 年インターネットIR・ベスト企業賞」を発表

大和インベスター・リレーションズ株式会社(東京都中央区 社長:駿田 和彦 以下、「大和IR」)は、企業のインターネットIRサイトを独自の基準で定量的に評価・採点し、以下の3賞を受賞する企業を選定いたしました。



### 「2010 年インターネットIR・ベスト企業賞グランプリ」 2 社

富士フイルムホールディングス株式会社(4901)、  
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ(9437) ※証券コード順



### 「2010 年インターネットIR・ベスト企業賞」 10 社

JXホールディングス株式会社(5020)、ミネベア株式会社(6479)、  
株式会社東芝(6502)、オムロン株式会社(6645)、日本電気株式会社(6701)、  
株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)、KDDI株式会社(9433)、  
東京瓦斯株式会社(9531)、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ(9613)、  
株式会社ファーストリテイリング(9983) ※証券コード順



### 「2010 年インターネットIR・優良企業賞」 66 社

※ 優良企業賞受賞企業につきましては3~4 ページを参照ください。

※ 株式会社大和証券グループ本社は優良企業賞の選定基準を満たしておりますが、表彰からは除外しております。

インターネットIR表彰企業の選定は、2000 年が第 1 回、今回で 11 回目になります。

今回の選定にあたり、青山学院大学大学院国際マネジメント研究科の北川哲雄教授のご監修のもと、選定プロセスに関するアドバイスをいただきました。①開示に関わる法令の改正およびIFRS等の制度対応、②機関投資家、個人投資家の情報格差に配慮したコンテンツの提供、③海外機関投資家を意識したグローバルなIRコンテンツ、④株主総会等SR活動の実施、等の観点から、採点基準の見直しを行ない、当社の掲げるIRの要諦「5T&C」(Timely(適時性)、Transparent(透明性)、Traceable(追跡可能性)、Trustworthy(信頼性)、Total(包括性)+Communication(双方向性))の考えに基づき、インターネットのメディア特性を重視したIRコンテンツについて定量的に採点いたしました。

また、採点実施 10 年を経て 11 年目へ踏み出した今回採点では、各社におけるインターネットIRの進化に鑑み、昨年までの「ベスト企業賞」、「優良企業賞」に加えて、「ベスト企業賞グランプリ」を新設し選定を行いました。その一方で「エフォート企業賞」を廃止いたしました。

**※2011 年 1 月 21 日(金)に表彰式を開催いたします。**

## ○選定基準

＜調査期間:2010年9月27日～12月3日＞

(1) 一次審査にあたっては、当社の掲げるIRの要諦「5T&C」(Timely(適時性)、Transparent(透明性)、Traceable(追跡可能性)、Trustworthy(信頼性)、Total(包括性)+Communication(双方向性))の考えに基づき、インターネットのメディア特性を重視した下記の基本項目について全上場企業のホームページを調査し1,169社を採点対象として絞り込みを行う。

- ・適時開示情報開示/ニュースリリースの状況
- ・直近期の決算短信の状況
- ・株主向けの任意刊行物の状況
- ・その他の任意刊行物の状況
- ・プレゼンテーション資料などのIRイベントの状況
- ・お問い合わせ先の表示

(2) 1,169社のIRサイトを大和IRの評価採点表(100点満点)に基づいて採点。

＜採点の主なポイント＞

- ・経営者のメッセージが良く伝わる内容になっているか。更新状況はどうか。
- ・コーポレート・ガバナンスに対する姿勢・体制・状況が公表されているか。
- ・開示に関わる法令改正およびIFRS等の制度に対応しているか。
- ・機関投資家等のプロ向けに財務データについて標準化されたフォーマットを提供しているか。
- ・個人投資家向けに財務・業績・経営指標データのシンプルなサマリーを提供しているか。
- ・様々な投資家を想定した情報を提供しているか。
- ・株主総会等SRコンテンツについて積極的開示しているか。
- ・ユーザーとの双方向コミュニケーションが適切にできているか。

(3) 評価点が85点以上で英語サイトについて60点以上の企業を「ベスト企業賞グランプリ」として選定。

(4) 評価点が75点以上で英語サイトについて50点以上の企業を「ベスト企業」として選定。

(5) 評価点が60点以上の企業を「優良企業」として選定。

## ○全体の評価結果の概要

(1) 1,169社の採点結果の評価点の平均は37.7点。

(2) 業種別では、海運業、石油・石炭製品、保険業の評価点が高く、銀行業、小売業が低い。[別表1]

○ 北川教授略歴

- ・ 早稲田大学商学部卒業・同大学院修士修了の後、中央大学大学院博士課程修了(経済学博士)。
- ・ 野村総合研究所、JP モルガンインベストマネジメント等でアナリスト業務に従事した後、2005 年より現職。
- ・ 専門は「インベスター・リレーションズ」「コーポレート・ガバナンス」「投資情報分析」
- ・ 主な社会的活動として、日本 IR 研究会理事、証券経済学会監事、日本証券アナリスト協会試験委員・編集委員会委員。
- ・ 主な著書として、
  - ①『IRユニバーシティ IRオフィサー入門』(単著、国際商業出版)2010 年
  - ②『資本市場ネットワーク論』(単著、文真堂)2007 年
  - ③『コーポレート・ガバナンスと企業価値』(分担執筆、石崎忠司他編、中央大学出版部)2007 年
  - ④『企業価値向上のための IR・経営戦略』(共著、岡田衣里他 東洋経済新報社)2004 年
  - ⑤『証券アナリストのための企業分析』(共著、阿部大輔他、東洋経済新報社)2004 年
  - ⑥『企業分析と資本市場』(単著、東洋経済新報社)2000 年

<ベスト企業賞グランプリ> 2 社

証券コード	業種分類	企業名
4901	化学	富士フイルムホールディングス株式会社
9437	情報・通信業	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

<ベスト企業賞> 10 社

証券コード	業種分類	企業名
5020	石油・石炭製品	IXホールディングス株式会社
6479	電気機器	ミネベア株式会社
6502	電気機器	株式会社東芝
6645	電気機器	オムロン株式会社
6701	電気機器	日本電気株式会社
8306	銀行業	株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
9433	情報・通信業	KDDI株式会社
9531	電気・ガス業	東京瓦斯株式会社
9613	情報・通信業	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
9983	小売業	株式会社ファーストリテイリング

<優良企業賞> 66 社

証券コード	業種分類	企業名
1332	水産・農林業	日本水産株式会社
1605	鉱業	国際石油開発帝石株式会社
2131	サービス業	株式会社アコーディア・ゴルフ
2163	サービス業	株式会社アルトナー
2331	サービス業	総合警備保障株式会社
2502	食料品	アサヒビール株式会社
2503	食料品	キリンホールディングス株式会社
2579	食料品	コカ・コーラウエスト株式会社
2809	食料品	キューピー株式会社
3105	繊維製品	日清紡ホールディングス株式会社
3401	繊維製品	帝人株式会社
3402	繊維製品	東レ株式会社
3789	情報・通信業	ソネットエンタテインメント株式会社

証券コード	業種分類	企業名
4503	医薬品	アステラス製薬株式会社
4506	医薬品	大日本住友製薬株式会社
4519	医薬品	中外製薬株式会社
4568	医薬品	第一三共株式会社
4661	サービス業	株式会社オリエンタルランド
4751	サービス業	株式会社サイバーエージェント
4817	情報・通信業	株式会社ジュピターテレコム
5202	ガラス・土石製品	日本板硝子株式会社
5812	非鉄金属	日立電線株式会社
6146	機械	株式会社ディスコ
6267	機械	ゼネラルパッカー株式会社
6268	機械	ナブテスコ株式会社
6301	機械	株式会社小松製作所
6460	機械	セガサミーホールディングス株式会社
6504	電気機器	富士電機ホールディングス株式会社
6594	電気機器	日本電産株式会社
6663	電気機器	太洋工業株式会社
6702	電気機器	富士通株式会社
6723	電気機器	ルネサスエレクトロニクス株式会社
6753	電気機器	シャープ株式会社
6754	電気機器	アンリツ株式会社
6758	電気機器	ソニー株式会社
6762	電気機器	TDK株式会社
6841	電気機器	横河電機株式会社
6875	電気機器	株式会社メガチップス
7270	輸送用機器	富士重工業株式会社
7732	精密機器	株式会社トプコン
8001	卸売業	伊藤忠商事株式会社
8031	卸売業	三井物産株式会社
8035	電気機器	東京エレクトロン株式会社
8056	情報・通信業	日本ユニシス株式会社
8316	銀行業	株式会社三井住友フィナンシャルグループ
8331	銀行業	株式会社千葉銀行
8403	銀行業	住友信託銀行株式会社
8410	銀行業	株式会社セブン銀行
8411	銀行業	株式会社みずほフィナンシャルグループ
8566	その他金融業	リコーリース株式会社
8604	証券・商品先物取引業	野村ホールディングス株式会社
8698	証券・商品先物取引業	マネックスグループ株式会社
8725	保険業	MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
8766	保険業	東京海上ホールディングス株式会社
8795	保険業	株式会社T&Dホールディングス
8815	不動産業	東急不動産株式会社
8933	不動産業	エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社
9005	陸運業	東京急行電鉄株式会社
9101	海運業	日本郵船株式会社
9432	情報・通信業	日本電信電話株式会社
9438	情報・通信業	株式会社エムティーアイ
9501	電気・ガス業	東京電力株式会社
9508	電気・ガス業	九州電力株式会社
9697	情報・通信業	株式会社カブコン
9783	サービス業	株式会社ベネッセホールディングス
9984	情報・通信業	ソフトバンク株式会社

[別表1]

業種別平均得点

業種名	社数	平均得点
水産・農林業	3社	41.7点
鉱業	2社	44.5点
建設業	34社	38.8点
食料品	48社	39.9点
繊維製品	16社	36.1点
パルプ・紙	7社	37.0点
化学	74社	37.1点
医薬品	27社	44.6点
石油・石炭製品	6社	51.0点
ゴム製品	6社	37.5点
ガラス・土石製品	18社	35.1点
鉄鋼	10社	37.2点
非鉄金属	17社	40.0点
金属製品	20社	33.8点
機械	58社	40.7点
電気機器	102社	42.5点
輸送用機器	30社	37.0点

業種名	社数	平均得点
精密機器	17社	37.0点
その他製品	31社	34.8点
電気・ガス業	12社	50.8点
陸運業	21社	32.9点
海運業	3社	58.0点
空運業	1社	57.0点
倉庫・運輸関連業	10社	33.1点
情報・通信業	127社	41.6点
卸売業	87社	37.0点
小売業	87社	30.0点
銀行業	93社	24.8点
証券・商品先物取引業	14社	44.1点
保険業	4社	64.3点
その他金融業	15社	47.7点
不動産業	42社	40.4点
サービス業	119社	38.5点
REIT	8社	36.8点
二次審査対象全社平均	1,169社	37.7点

(業種は東証33業種分類+REIT)

大和IRは、資本市場に幅広い専門分野を持つ大和証券グループのネットワークを活かし、上場企業・上場予定企業のIRを総合的にサポートしています。株主・投資家向けの刊行物の制作をはじめ、会社説明会の開催など各種IR活動のアドバイザーズにおいて、クオリティの高いサービスを提供しています。とりわけ、企業のインターネット・ホームページによるIR分野においては、各方面から高い評価をいただいております。

今後も大和IRでは、日本最高のIRコンサルティングファームを目指し、インターネットをはじめとした企業のようなIR活動をサポートしてまいります。

【お問い合わせ先】 大和インベスター・リレーションズ株式会社

インターネット IR 事務局 松永/堅持

(電話 03-5555-4111 E-mail biz\_dev@daiwair.co.jp )

ホームページ改善のご相談ならびに個別企業ごとの評点等に関するお問い合わせは以下まで  
 コンサルティング部 大野  
 (電話 03-5555-4013 E-mail yasuhiko.ono@daiwair.co.jp)

以上